



特定非営利活動法人浦和スポーツクラブ

2020年度 通常総会



1. 2019年度事業報告	1
2. 2019年度決算報告	8
3. 2020年度事業計画(案)	5
4. 2020年度予算(案)	19
5. 役員の変更について	21

日時：2020年6月14日（日）15時～
場所：浦和スポーツクラブ・クラブハウス

1. 2019 年度事業報告：採決事項①

(1) 総括表

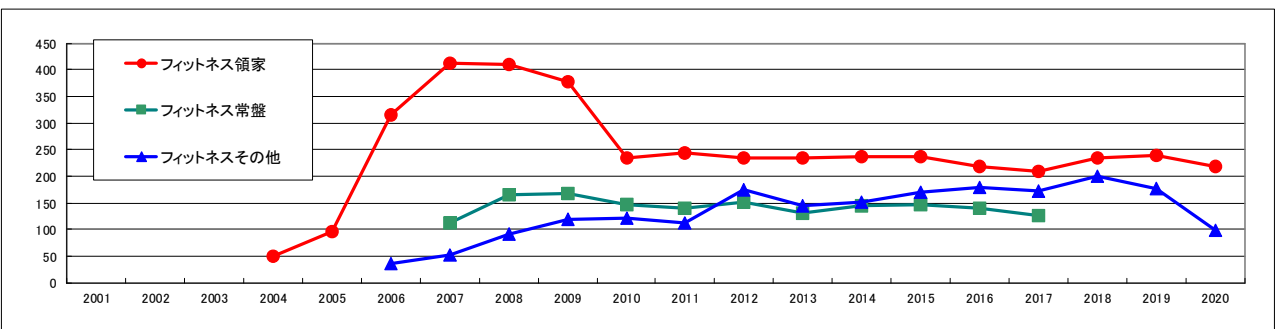
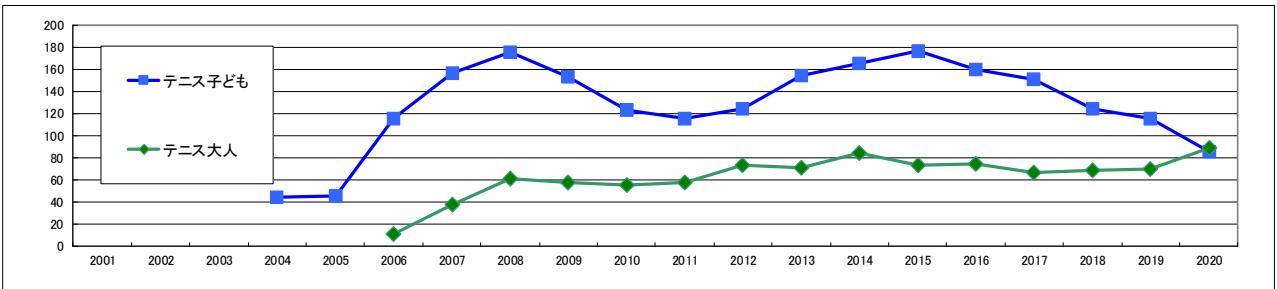
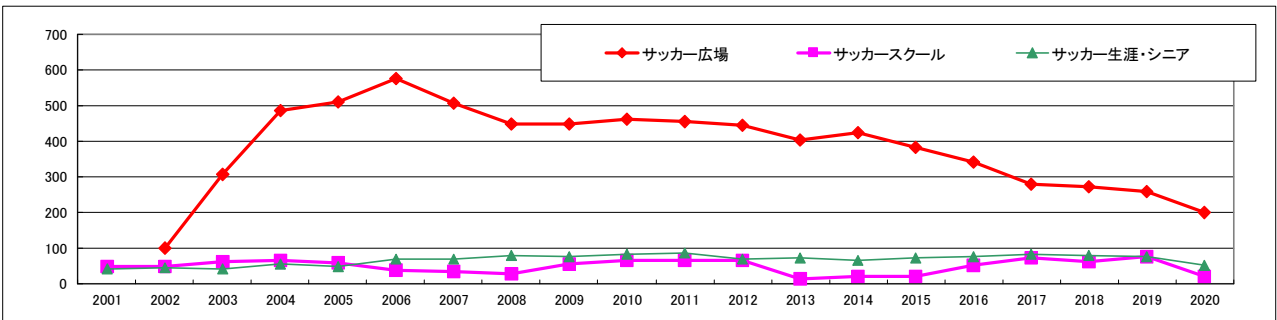
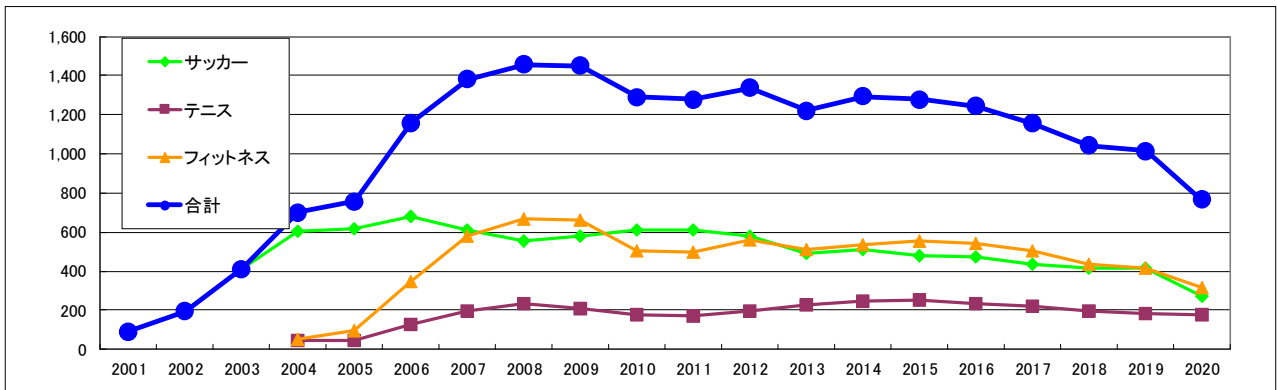
月	クラブ事業	関連事業への参加等
4	○ 新年度プログラム開始 07 浦和スポーツクラブコーチ会議 27 第1回理事会 27 月刊うらすぼ vol. 19	10 彩の国 SC ネット臨時理事会 19 元気アップ運営委員会 13 きた！Urawa フェスタ第1回運営委員会 28 第8回支え合い会議
5	○ JV 各種テニス教室 18 第2回理事会 23 定期監査 30 月刊うらすぼ vol. 20	11 きた！Urawa フェスタ第2回実行委員会 20 彩の国 SC ネット第1回理事会 24 元気アップ運営委員会
6	○ JV 各種テニス教室 03 2019 年度定期総会 10～28 平成国際大学実習生受入れ 30 月刊うらすぼ vol. 21	08 元気アップネットワーク総会 08 きた！Urawa フェスタ第3回実行委員会 15 彩の国 SC ネット総会 23 きた！Urawa フェスタ（本太中） 27 市総合型地域 SC ワーキング
7	○ JV 各種テニス教室 ○ JV シニア筋トレ教室 20 第3回理事会 27 実験理科教室（モーター、浮沈子） 30 月刊うらすぼ vol. 22	20 健康フェア実行委員会 25 市総合型地域 SC ワーキング 28 みんなのスポーツ体験会打合せ
8	○ JV 事業（シニア筋トレ教室、各種テニス教室、逆上がり教室、JV 走り方教室） 15 三世代サッカー広場 24 第4回理事会 30 月刊うらすぼ vol. 23	01 元気アップ第1回運営委員会 07 彩の国 SC ネット第2回理事会 28 彩の国 SC プロジェクト事業 31 みんなのスポーツ体験会 31 健康フェア実行委員会
9	○ JV 事業（各種テニス教室、シニア筋トレ教室、走り方教室） 19 スポーツ庁 A T 派遣事業開始 19 スポーツ庁アドバイザー会議 23 スポーツ鬼ごっこ県選手権大会参加 28 第5回理事会 30 月刊うらすぼ vol. 24	03 市総合型地域 SC ワーキング 08 第9回支え合い会議 21 みんなの健康フェア
10	○ JV 事業（各種テニス教室、シニア筋トレ） 01 キッズテニス大会ドロー会議 04～28 平成国際大学実習生受入れ 10 スポーツ庁事業打合せ（本太中） 12 第12回キッズテニス大会台風で中止 19 第6回理事会 27 スポーツ鬼ごっこ関東大会出場	02 元気アップ運営委員会 06 第10回支え合い会議 台風のため延期 19 領家公民館まつり参加 23 彩の国 SC ステップアップ研修会 30 彩の国 SC ステップアップ研修会
11	01 月刊うらすぼ vol. 25 08 本太中サッカー部体組成測定 10 チャレンジクラブ（本太中）指導者会議 28 リースづくり教室	01 市総合型地域 SC ワーキング 06 彩の国 SC ネット第3回理事会 13 彩の国 SC ステップアップ研修会 20 彩の国 SC ステップアップ研修会
12	○ チャレンジクラブ（本太中）開始 01 月刊うらすぼ vol. 26 01 東京都広域 SC 視察 07 第7回理事会 21 みんなのフットサル体験会（サイデン化学アリーナ） 23 キッズテニス全国大会参加	07 第11回支え合い会議 11 彩の国 SC ステップアップ研修会 19 市総合型地域 SC ワーキング 25 彩の国 SC ステップアップ研修会 24 元気アップ第2回運営委員会

月	クラブ事業	関連事業への参加等
1	○ チャレンジクラブ（本太中） ○ バドミントン基礎講習会第Ⅱ期 01 月刊うらすぽ vol. 27 11 スポーツ庁本太中「食の特別授業」 18 第8回理事会、新年会 30 スポーツ庁事業会議（本太中）	19 第12回支え合い会議
2	○ チャレンジクラブ（本太中） 01 月刊うらすぽ vol. 28 15 第9回理事会 21 スポーツ庁事業会議（本太中） 23 みんなのサッカー交流会（埼玉スタ） 24 スポーツ庁事業会議（浦スポ）	16 わくわく市民フェスタ参加（パルコ） 29 親子スポーツチャレンジ（サイデン化学アリーナ）新型コロナ感染防止のため中止
3	○ 新型コロナ感染予防のためすべてのプログラム中止 01 月刊うらすぽ vol. 29 28 第10回理事会	19 元気アップ第3回運営委員会

（２）会員数

- ・ 4月当初の会員数が800人を下回ったのは、2005年度以来です。
- ・ 新型コロナウイルス禍の影響により2月末から活動を休止しており、再開のめどが立っていないことから、新年度の募集が十分に行えていないこと、および、現会員も更新の手続きがとまっていることが推察されます。
- ・ プログラムの再開後、適切なタイミングで広報を行い、会員の募集を積極的に図ることが必要です。

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
サッカー広場		100	308	486	509	575	508	449	448	461	454	445	402	425	383	343	278	272	260	199
サッカースクール	50	48	62	65	60	37	35	29	54	64	67	66	14	22	20	52	72	63	77	21
サッカー生涯・シニア	40	45	42	54	48	70	69	78	77	84	88	68	73	65	73	76	82	81	77	53
テニス子ども				45	46	116	157	175	153	123	115	124	154	165	177	160	151	124	116	86
テニス大人						11	38	61	58	56	58	73	71	84	73	74	67	69	70	89
フィットネス領家				50	95	314	413	410	377	234	244	235	234	236	236	219	208	235	238	218
フィットネス常盤							112	165	167	147	140	152	131	144	146	140	125			
フィットネスその他						35	51	91	118	121	113	174	144	152	169	180	173	199	176	99
サッカー	90	193	412	605	617	682	612	556	579	609	609	579	489	512	476	471	432	416	415	273
テニス				45	46	127	195	236	211	179	173	197	225	249	250	234	218	193	186	175
フィットネス				50	95	349	576	666	662	502	497	561	509	532	551	539	506	434	414	317
合計	90	193	412	700	758	1,158	1,383	1,458	1,452	1,290	1,279	1,337	1,223	1,293	1,277	1,244	1,156	1,043	1,015	765



(3) 年度当初事業計画と成果

2019年度当初事業計画	成果
1. 全体 ◆子どものスポーツ環境の充実 ◆大人のスポーツ環境の充実 ◆シニアのスポーツや運動環境の充実 を目指しており、これを実現するために ☆他にはない受け皿を用意していく ☆使える場所を増やす ☆地域とつながる・つなげる 活動を展開していきます。	○スポーツ庁事業を契機に中学生のスポーツ環境の改善への取組みが進んだ ○スポーツ鬼ごっこが家族を巻き込む形で広がりを見せ始めた ●シニアについて新たな展開はなかった
【プロジェクト】 (1) 中学生のスポーツ環境向上プロジェクト 1) 部活動改革事業 2) コンディショニングサポート 3) 部活スタートアップ講習会 4) 指導人材ネットワーク (2) 中学生女子サッカー支援プロジェクト (3) こどものスポーツに関する考え方の整理 (4) パラ種目体験・交流事業	○スポーツ庁事業を受託し進展した ○ “ ○継続開催。 ○スポーツ庁事業として進めた △交流会は変則開催 △教室は休止も 方向性が整理できてきた ●未着手 ○予定のイベント開催できた
【通常事業】 (1) クラブメンバーシップを育む ・指導者もプレイヤーも、みんながクラブは自己実現を図る場という考えを広げていきます。 ・家族で参加しやすいクラブを目指す。 ・会員やその家族が、種目の壁を越えて参加し交流できる事業を実施します。	●サッカー生涯コース実質解散 再構築 ○スポーツ鬼ごっこが会員の家族を巻き込んで拡がりを見せている
(2) 広報・PRに力を入れます ・会員の確保、クラブの認知度向上を目指して広報・PRに皆で取り組みます。 ・ニュースの配布先を増やします。	●ニュースの定期配布ができていない ○リーフレット刷新（コロナ休止で配布ストップ）
(3) 第12回キッズテニス大会 inS A I T A M A	一 台風により中止
(4) さいたま市内の地域スポーツクラブと連携した事業の推進	○イベントそのものは中止になったが、市内の他団体とも連携が進んだ
(5) 駒場体育館指定管理事業の充実等	○健康フェア、みんなのスポーツ交流会など実施 ●今後にむけた話し合いはまだ
(6) スポーツ用品リユースプロジェクト	●新たに取組みができなかった。収集物未整理
(7) その他 ①彩の国SCネットワーク事務局 ②クラブの拠点づくり ③スポーツ推進委員や少年団との連携	○継続的に担当 △事務所移転検討したが未達。 本中のさらなる利用にむけたきっかけができた △イベントにおいて連携
2. プログラム (1) サッカー ・広場の会員増加、プログラムの充実をはかります ・中学女子サッカーのプログラムについて関係機関と連携して会員増・充実を図ります ・生涯コースの会員を増やします ・スーパーシニア広場の会員増をはかります	●広場は増加せず。改定効果見られず。 ○ラッキーズとの連携はよくなった ●生涯コース大量退会、 ○SSは皆さん元気に続けている

(2) テニス ・ テニス会員の増加を目指します。 ・ 自前のテニスコートの確保。 ・ 市民大会に、浦和スポーツクラブとして参加します ・ 駒場体育館の自主事業を積極的に進めます。	△会員数は大きな増減はない △大きな変化はないが新たな可能性が見えた ○市民大会への参加は徐々に増えている ○自主事業は定着してきた
(3) フィットネス ・ 会員の増加、クラス数の増加を図ります ・ スタジオのさらなる活用とそのための指導者の確保を図ります ・ のびのびスポーツ広場の会員増加をはかります ・ シニア対象プログラムの会員増加を図ります ・ 貯筋運動の普及を図ります	△増えていない ○週末プログラムの定着 ○スポーツ鬼ごっこ県大会、全国大会に参加 ●シニア健康教室は減少し人数が厳しいクラス有
(4) 卓球 ➤指導者（コーチ役）の安定的な確保を目指します	○中学部活サポートの役割を果たしている ●後継者探しが必要
(5) その他 ・ 星空スポーツ広場参加者のクラブへの理解を進めるように取り組みます ・ 様々な専門知識を持った人材を活かし、各プログラムに+αを付け加えていきます	○星空スポーツ サッカーの大人たちが生涯コースに入会 ○スポーツ庁事業を契機に広がりの可能性がでてきた

(総論)

- ✓ サッカー指導者のモラル違反に端を発し、サッカー生涯コース会員の多くが退会しました。公共施設を利用して活動しているうえで守るべきルールやモラルに対する理解が得られていなかったことがとても残念なことでした。
- ✓ プログラムの現場のコントロールは指導者の方に依存せざるを得ないことから、指導者との情報共有、モラルの共有が極めて重要であることを再認識しました。
- ✓ 駒場体育館の大規模改修による長期休館、秋の大雨による施設の長期封鎖、2月下旬からのコロナ禍と、活動に大きな支障が発生した年となりました。
- ✓ 新たな動きとして、スポーツ鬼ごっこに参加する会員の保護者から家族参加の場づくりの提案があり、少しずつ拡がりを見せていることは嬉しい展開でした（コロナ禍により活動休止となっていることが残念です）
- ✓ 子どもむけのプログラムの会員数減少、成人会員の高齢化が目立ち、子どもと、中堅世代の会員確保が課題となってきました。
- ✓ みんなのスポーツ交流会やサッカー交流会、健康フェアなど、関連機関との連携プログラムの方向性がさらに固まってきた1年でした。その象徴ともなる2/29のイベントの中止はとても残念でしたが、ネットワークの拡がりを感じることができました。
- ✓ 早稲田大学広瀬教授の提案で始まった本太中学校プロジェクトが、スポーツ庁のモデル事業に採択されたことで、以前から課題となっていた中学校部活動との連携について調査・検討ができたことは大きな成果でした。
- ✓ さらに展開を期待している中で、コロナ対策で全ての取組みが止まっていることが残念です。

(各論)

【プロジェクト】

1. 中学生のスポーツ環境向上プロジェクト

(1) 部活動改革事業・コンディショニングサポート

- ✓ スポーツ庁モデル事業に応募し採択され、アスレティックトレーナー等専門家派遣とチャレンジクラブを試行しました。
- ✓ 関係者が多忙で情報共有・調整が進まずに不十分な部分もありましたが、AT等専門家の派遣の効果

と意義が示せたこと、中学運動部活との地域スポーツの連携の将来型を考えるヒントが得られたことは大きな成果でした。

- ✓ 関係者との情報共有や成果の共有を広く展開することが課題として残りました。

(2) 部活スタートアップ講習会

- ✓ バドミントン講習会を開催しました。
- ✓ 卓球等への多種目展開はできませんでした

(3) 指導人材ネットワーク

- ✓ 本中プロジェクトをとおして、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、サッカーなどの種目の指導者、および、理学療法士やスポーツ栄養士の方々とのつながりが生まれました。

2. 中学生女子サッカー支援プロジェクト

- ✓ 荒川河川敷の洪水の影響で、秋からはレッズレディースとグラウンドをシェアすることになりました。
- ✓ ラッキーズさんも参加していただき、会員の増加につながるなど良い効果が見られました。
- ✓ 体験→教室→練習参加→チーム参加という種々の段階を用意することが効果的であることがわかってきました。これを、女子サッカー関係団体で連携して行うことが有効と考えられ、モデルを整理しました（今後、市や教育委員会、クラブチームに提案の予定）

3. こどものスポーツに関する考え方の整理

- ✓ 進みませんでした。

4. パラ種目体験・交流事業

- ✓ 車いすバスケットボールの体験を中心としたみんなのスポーツ体験を開催しました。
- ✓ 障がい者サッカー（ブラインドサッカー、デフサッカー）の体験会を開催しました。
- ✓ 2月29日の親子スポーツチャレンジでも予定していましたが、コロナ対策により開催できませんでした。

【通常事業】

1. クラブメンバーシップを育む（仲間づくり、社会参加の実現）

- ✓ サッカー生涯会員の退会は、クラブへの参加という点で理解が得られなかったものであり、残念な結果となりました。指導者や理事間のコミュニケーション不足と、地域スポーツを中心に公助・共助の活動主体となる地域のスポーツクラブへの理解が得られなかったものと受け止めています。
- ✓ 非常時における備えという意味でも、交流と社会参加の実現は大切な考え方であることを、クラブに関わる方々に伝えていくことが大切であり、そのためにわかりやすい表現を整理しておく必要があります。
- ✓ その一方で、スポーツ鬼ごっこ会員の保護者から、家族参加の場づくりの提案がなされ、実際に動き出されていることは、とても大事な流れだと思います。
- ✓ 活動休止中も、クラブの存続について心配していただき、対応策の提案などをいただくことなどもあり、こういったつながりを大切にしていきたいと思います。

2. 広報・PRに力を入れます

- ✓ 2019年2月から元気アップ通信を併催することで、配布先の拡大をはかってきましたが、具体的な配布先の整理がなされていないので、今後は、これらの整理と確認が必要です。
- ✓ 新たなパンフレットとチラシの作成を行いました。募集チラシについては、新年度にむけた配布予定でしたが、活動休止のため延期しています。

3. 「第13回 キッズテニス大会 in S A I TAMA」の開催

- ✓ 10月12日（土）開催で準備を進めましたが、大型台風のために中止となりました。

4. さいたま市内の地域スポーツクラブと連携した事業の推進

- ✓ 市スポーツ協会との協働によるイベント開催の企画をとおして、市内の団体と連携、情報交換を継続して行いました。
- ✓ 一方で、市の推進委員会については進展させることができませんでした。

5. 駒場体育館指定管理事業の充実等

- ✓ 8月31日のみんなのスポーツ交流会、9月21日の第4回健康フェアを開催しました。
- ✓ 体験教室の増加については着手できませんでした。
- ✓ 大規模改修に伴う長期休館期間に入りました。

6. スポーツ用品リユースプロジェクトの継続

- ✓ 進められませんでした。

7. その他

- ✓ 彩の国SCネットワークの事務局を担いました。
- ✓ 本中プロジェクトの実施に伴い、少年団指導者との連携も図ることができました。きた Urawa フェスタの積み重ねなども生きていると思います。

8. プログラム

(1) サッカー

- ✓ 広場の会員は減少しましたが、新年から指導者の一部が入れ替わり、若手に切り替わったことで雰囲気は良くなっています。
- ✓ スクールも指導方針をあらためました。チャレンジクラブとの連携の可能性なども生まれてきました。
- ✓ 中学女子サッカーのプログラムも参加者は増えませんでした。関係団体との連携は向上しました。
- ✓ 生涯コースが大量に退会されましたが、新規入会者もありました。
- ✓ スーパーシニア広場は特に大きな変化はなく安定して活動されています。

(2) テニス

- ✓ 会員のニーズにあわせたコース設定など工夫をしてきました。
- ✓ テニスコートの確保には至りませんでした。定期的な借り上げにむけた可能性がでてきました。
- ✓ 駒場体育館自主事業を行いました。

(3) フィットネス

- ✓ 会員の増加にむけてプログラムの一部入れ替えや新プログラムを展開しました。
- ✓ 土曜日の午前中に新プログラムを常設しました。

(4) 卓球

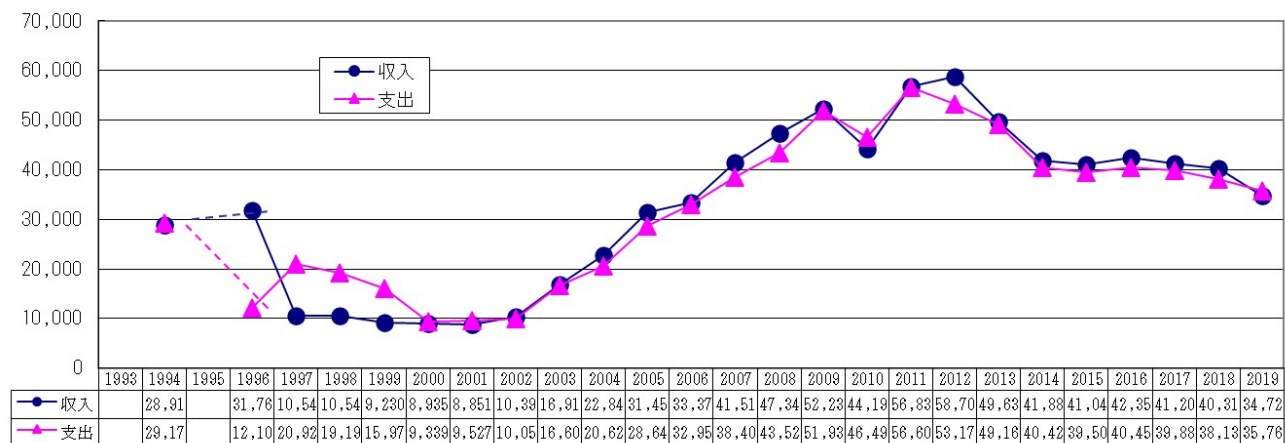
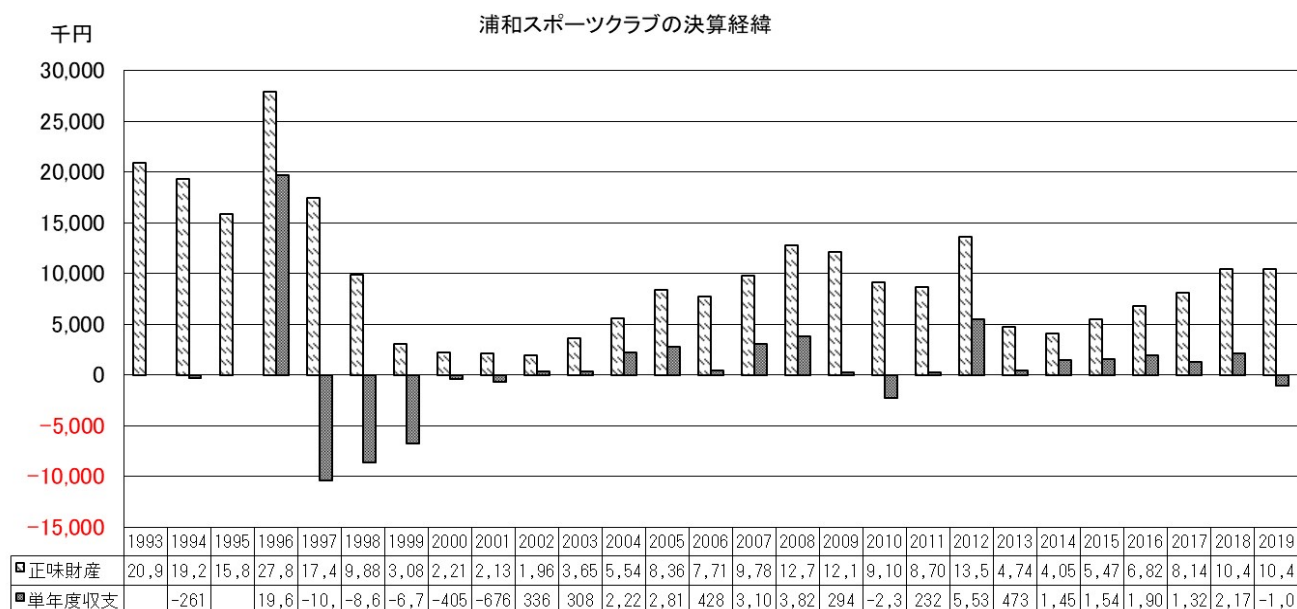
- ✓ 小中高と参加していた大学生がコーチとして参加してくれています。
- ✓ 今後、このような人材を増やしていくことが望まれます。

(5) その他

- ✓ 星空スポーツ広場のバドミントンやサッカーは、参加者による自主的な運営が根付いてきました。さらに拡大しながら、クラブの運営に参加してくれる人を増やしていくことが望まれます。

2. 2019 年度決算報告（2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日）：採決事項②

- ☐ 収入総額は約 3,472 万円となりました。会費等の収入は約 3,109 万円となりました。
- ☐ 昨年度より約 560 万円の減収となりましたが、もともと本年度予算は総収入 3,600 万円、会費収入を約 3,500 万円で見込んでいましたので、会費収入としては 400 万円の減少です。3 月の休止が大きく影響しています。
- ☐ 助成金は、埼玉県障がい者スポーツ協会による 10 万円（みんなのサッカー交流会分）の他、スポーツくじ助成（toto）があります（toto の確定が 6/12 だったため若干のずれは生じています）。
- ☐ スポーツ庁事業は約 190 万円でした。
- ☐ 支出は、約 3,594 万円で、予算の 3,446 万円よりも約 148 万円多くなりましたが、これは予算立案時点でスポーツ庁事業費を見込んでいなかった分がありますので、各支出項目が予定よりも膨らんだものではありません。
- ☐ また、スタッフや指導者の皆さんの急激な収入減を防ぐために、休業手当をお支払いしています。（当初、緊急雇用安定助成金の対象になるとの説明を受けていましたが、申請時になり対象外とされました）
- ☐ 以上の結果、単年度の経常収支で約 122 万円の赤字となりました。



活 動 計 算 書

(単位：円)

NPO法人 浦和スポーツクラブ

自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正 会 員 受 取 会 費	75,000	
賛 助 会 員 受 取 会 費	120,000	195,000

【受取寄付金】

受 取 寄 付 金		25,000
-----------	--	--------

【受取助成金等】

受 取 助 成 金		815,414
-----------	--	---------

【事業収益】

事 業 収 益		31,095,324
受 託 事 業 収 益		1,855,588

【その他収益】

受 取 利 息	91	
雑 収 益	236,086	… 簡易課税の消費税調整差額
用 具 等 販 売	495,345	731,522
経 常 収 益 計		

34,717,848

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給 料 手 当	123,000	
臨 時 雇 賃 金	12,966,040	…各プログラム謝金
通 勤 福 利 費	145,628	…広場学生
法 定 福 利 費	325,844	
人 件 費 計	13,560,512	

(その他経費)

諸 謝 金	3,595,847	…ハレエ、体操
印 刷 製 本 費	195,741	…地域事業チラシ、キッズテニス大会チラシ
旅 費 交 通 費	127,589	…TFP交通費、スポーツ庁
車 両 費	180,743	…ガソリン、車検、自動車保険
消 耗 品 費	1,230,421	…ボール、シャトル、ネット
用 具 等 販 売 原 価	549,348	…ユニフォーム
賃 借 料	3,062,877	…グラント代、コート代、体育館使用料
登 録 費	114,400	…サッカー協会、テニス協会
保 険 料	569,406	…総合型傷害保険、スポーツ安全保険
支 払 手 数 料	44,938	
外 注 費	1,911,312	…TFPインストラクター派遣料、サッカー広場派遣料
雑 費	51,999	…卒業記念品、イベント参加賞等
そ の 他 経 費 計	11,634,621	

25,195,133

【管理費】

(人件費)

給 料 手 当	3,307,500	
ア ル バ イ ト 給 料	2,406,501	
通 勤 福 利 費	180,000	
法 定 福 利 費	642,240	…社会保険料、労働保険料
人 件 費 計	6,536,241	

(その他経費)

印 刷 費	184,570	…ニュース印刷費
会 議 費	15,659	…懇親会
旅 費 交 通 費	4,129	
通 信 運 搬 費	803,568	…ニュース郵送、電話、郵便、レンタルサーバー
事 務 消 耗 品 費	92,644	…文具、用紙、封筒
備 品 消 耗 品 費	168,021	…ソフト更新、トナー・インク等
水 道 光 熱 費	380,681	…スタジオ・事務所電気代

賃	借	料	1,191,027	…事務所、駐車場
広	告	宣	228,078	…HP管理費、パンフレット
減	価	償	105,400	…コピー機、製氷機
保		除	163,760	…損害保険、火災保険
諸		会	60,557	…NPOセンター、彩の国ネット、元気アップ、おまつり他
リ	一	ス	387,496	…セコム、AED、コピーカウンター料
租	税	公	450	
支	払	手	405,039	…銀行等、税理士報酬
雑		数	15,458	…洗剤、ごみ袋他
その他経費計			4,206,537	
管理費用計				10,742,778
経常費用計				35,937,911
当期経常増減額				△ 1,220,063

【経常外収益】

経常外収益計 0

【経常外費用】

経常外費用計 0

税引前当期正味財産増減額 △ 1,220,063

当期正味財産増減額 △ 1,220,063

前期繰越正味財産額 10,314,275

次期繰越正味財産額 9,094,212

【活動計算書の注記】

【重要な会計方針】

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却しています。

(2). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜経理方式によっています。

【事業別損益の状況】

事業別損益の状況は別紙の通りです。

【固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高】

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
車両（ハイエース）	1,443,000	1,442,999	1
建物付属設備（施設改修）	4,463,026	4,463,026	0
什器備品（空調設備）	1,470,000	1,469,999	1
リース資産（印刷機1）除却	385,000	385,000	0
リース資産（印刷機2）	360,000	156,000	204,000
リース資産（コピー機）	444,000	444,000	0
器具及び備品（製氷機）	200,000	55,666	144,334
合計	8,765,026	8,416,690	348,336

【借入金の増減内訳】

借入金はありません

【役員及びその近親者との取引の内容】

役員及びその近親者との取引はありません。

事業別損益の状況（別紙）

(単位：円)

科目	サッカー	フットサ	デニス	その他	事業部門計	管理費計	合 計
I 経常収益							
1. 受取会費			5,000			195,000	195,000
2. 受取寄付金				100,000	100,000	20,000	25,000
3. 受取助成金等							815,414
4. 事業収益	12,018,314	10,639,120	7,505,959	3,549,356	33,712,749	-761,837	32,950,912
5. その他収益	418,888	19,924			845,103	535,271	731,522
経常収益計	12,437,202	10,659,044	7,510,959	3,649,356	34,657,852	-11,566	34,717,848
II 経常費用							
1. 人件費							
給料・賃金	3,917,060	3,262,900	4,653,900	1,255,180	13,089,040	5,714,001	18,803,041
通勤費	145,628				145,628	180,000	325,628
法定福利、福利厚生	325,844			0	325,844	642,240	968,084
2. その他経費							
諸謝金		2,076,919		1,518,928	3,595,847		3,595,847
印刷製本費	4,796	2,652	35,601	152,692	195,741	184,570	380,311
会議交通費						15,659	15,659
旅費		69,905	10,000		127,589	4,129	131,718
車両運搬費	180,743				180,743		180,743
消耗品費						803,568	803,568
用具等販売原価	212,849	13,700	135,324	868,548	1,230,421	260,665	1,491,086
水道光熱費	478,182	63,072			549,348	549,348	549,348
賃借料	676,482	1,900,627	201,786	283,982	3,062,877	380,681	380,681
広告宣伝費	97,000	1,000	16,400		114,400	1,191,027	4,253,904
減価償却費						228,078	114,400
保険料	259,745	125,847	95,600	88,214	569,406	105,400	228,078
諸リース料						163,760	105,400
リース手数料	27,228			17,710	44,938	60,557	733,166
支払租税						387,496	60,557
外注費	985,527	925,785			405,039	449,977	387,496
雑費	12,980	1,726			450		449,977
経常費用計	7,324,064	8,444,133	5,165,358	4,205,800	25,195,133	15,458	1,911,312
当期経常増減額	5,113,138	2,214,911	2,345,601	-556,444	9,462,719	10,742,778	67,457
							35,937,911
							-1,220,063

※その他の部門は、卓球・星空スポーツ広場・駒場自主事業・地域事業

貸 借 対 照 表

NPO法人 浦和スポーツクラブ
全事業所

(単位：円)

2020年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現 金 ・ 預 金)		
現 金	221,708	
普 通 預 金	7,933,172	
現 金 ・ 預 金 計	8,154,880	
(売 上 債 権)		
未 収 会 費	10,000	
未 収 助 成 金	2,756,561	・・・スポーツ庁、toto
売 上 債 権 計	2,766,561	
(その他流動資産)		
前 払 費 用	1,052,510	・・・スポーツ傷害保険、損害保険、登録費
そ の 他 流 動 資 産 計	1,052,510	
流 動 資 産 合 計		11,973,951

【固定資産】

(有 形 固 定 資 産)		
建 物 付 属 設 備	1	・・・空調機械
車 両 運 搬 具	1	・・・ハイエース
器 具 及 び 備 品	144,334	・・・製氷機
リ ー ス 資 産	204,000	・・・印刷機
有 形 固 定 資 産 計	348,336	
(無 形 固 定 資 産)		
電 話 加 入 権	76,440	
無 形 固 定 資 産 計	76,440	
(投資その他の資産)		
敷 金	746,000	
投 資 そ の 他 の 資 産 計	746,000	
固 定 資 産 合 計		1,170,776
資 産 の 部 合 計		13,144,727

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	1,387,559	・・・賃金、謝金、交通費
前 受 金	1,611,990	・・・会費、広場シャツ代
預 り 金	118,126	・・・源泉徴収税、雇用保険
未 払 消 費 税 等	713,000	
流 動 負 債 計		3,830,675

【固定負債】

リ ー ス 負 債	219,840	
固 定 負 債 計		219,840
負 債 の 部 合 計		4,050,515

《正味財産の部》

【正味財産】

前期繰越正味財産額	10,314,275	
当期正味財産増減額	△ 1,220,063	
正 味 財 産 計		9,094,212
正 味 財 産 の 部 合 計		9,094,212
負債・正味財産合計		13,144,727

財 産 目 録

NPO法人 浦和スポーツクラブ
全事業所

(単位：円)

2020年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金	221,708
普通預金	7,933,172
埼玉りそな	(248,514)
ゆうちょ	(145,255)
郵便振替口座	(1,981,620)
城北信用1	(1,063,428)
施設費積立	(4,000,090)
toto	(494,265)

現金・預金計 8,154,880

(売上債権)

未収会費 10,000

未収助成金 2,756,561 ……スポーツ庁、toto

売上債権計 2,766,561

(その他流動資産)

前払費用 1,052,510 ……スポーツ傷害保険、損害保険、登録費

その他流動資産計 1,052,510

流動資産合計 11,973,951

【固定資産】

(有形固定資産)

建物付属設備 1

車両運搬具 1 ……ハイース

器具及び備品 144,334 ……製氷機

リース資産 204,000 ……印刷機

有形固定資産計 348,336

(無形固定資産)

電話加入権 76,440

無形固定資産計 76,440

(投資その他の資産)

敷金 746,000

投資その他の資産計 746,000

固定資産合計 1,170,776

資産の部合計 13,144,727

《負債の部》

【流動負債】

未払金 1,387,559 ……貸金、謝金、交通費

前受金 1,611,990 ……会費、広場ｼｬｯﾂ代

預り金 118,126

雇用保険 (19,365)

源泉徴収税 (98,761)

未払消費税等 713,000

流動負債計 3,830,675

【固定負債】

リース負債 219,840

固定負債計 219,840

負債の部合計 4,050,515

正味財産 9,094,212

監 査 報 告 書

令和2年6月4日

特定非営利活動法人浦和スポーツクラブ

理 事 長 小 野 崎 研 郎 殿

監事 三 戸 一 嘉 

監事 柴 崎 梁 一 

特定非営利活動法人浦和スポーツクラブの平成31年4月1日から令和2年3月31日
までの2019年度の理事の業務執行状況、及び事業報告書、貸借対照表、活動報告書、
並びに財産目録（以下、事業報告書等）について、監査を実施した。

監査結果の意見は、次のとおりである。

- (1) 理事の業務執行に関し、不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められなかった。
- (2) 上記の事業報告書等が、特定非営利活動法人浦和スポーツクラブの令和2年3月31日現在の財産状況、及び同日をもって終了する事業年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

以 上

3. 2020 年度事業計画（案）：採決事項③

（１）会議・行事等

月 日		行 事	会 場
4 月	18	理事会	
5 月	16	理事会	
6 月	14	一部プログラム再開 総会	
7 月		学校施設利用プログラム 再開予定 理事会	
8 月		理事会	
9 月		理事会 本中プロジェクト再開予定	
10月		理事会	
11月		理事会	
12月		理事会	
1 月		理事会	
2 月		理事会	
3 月	6	駒場体育館再開 健康フェア開催予定	

（２）クラブ全体として

■緊急課題対応

例年よりも 3 割以上会員数が減少していること、4 か月間も収入がないことなどから、7 月から徐々に活動が再開したとしても来年度には現在の形態での活動は困難になります。

クラブの存続にむけて、以下のことに取組みます。

- 存続のための資金確保
- 会員確保のための活動
- コロナ等にも負けない運営の仕組みづくり

①存続のための資金確保

次のような方法により資金を確保することを検討、実施していきます。

1) 期間限定の会費の値上げ

◇現時点の会費では概ね 800～850 名が損益分岐点と考えられます。

◇9 ヶ月の活動で 12 ヶ月分をカバーするのは困難です（単純計算では 800～900 円の月会費の値上げが必要になってしまいます）。

◇今後のことに備えた会費設定を検討し、期中においても会費の値上げをお願いする可能性があります。

2) 寄付の募集

◇クラウドファンด์やスポーツ協会等の指定団体寄付等を用いて寄付金を集めます

3) 助成金等の確保

◇広報などに用いることができる助成金の確保に努めます。

②会員確保のための活動

全てのプログラムにおいて会員を増やすために広報活動と体験会等の開催に、これまで以上に取り組みます。

③コロナ等に負けない仕組みづくり

◇クラブでは、地域にお住まいの方のスポーツ実施率を高め、生涯にわたってスポーツを続けることができる環境づくりに取り組んできました。

◇サッカー、テニス、フィットネスの大きく3つの分野で幼児から高齢者までが参加できるプログラムの展開や、できるだけ多くの人が参加しやすい各種のスポーツ広場の開催など、徐々に実現してきました。

◇多年代の活動の場の用意はできてきたものの、クラブが目指す「多年代にわたって参加し続ける会員・家族が増える」ことは実現していません。

◇年代の連続性が確保できていないこと、種目の選択肢が低いことなどがその原因にあると思われるが、中学校の部活動との連携は、このような課題をクリアする可能性を感じさせるものとなりました。

◇クラブでは現在の事務所とスタジオを2006年に開設し、15年目を迎えます。この間の賃借料は4000万円を超えるものとなります。クラブ会員の会費により支えられてきたものですが、クラブのこれからの役割を考えた時に、貴重なクラブ会費をこのような形で後に残らないものとしていくのが良いのかも考えていく必要があります。

◇本年4月には、見沼区を拠点として活動してきた「さいたまスポーツクラブ」が解散されました。全国のクラブからも注目を集めた「あすも」（クラブハウス）整備のための借入金も経営には少なくない影響を与えていたものと推察されます。

◇公助、公益の一部を担うことが期待されてきた地域スポーツクラブの社会の中でのあり方を今一度問い直し、地域との協働、行政との協働を将来にわたって着実に進めていくための運営や経営の方法についても検討しなおします。

◇さいたま市内の地域スポーツクラブのモデルケースの一つとなり、他のクラブと協力しながら、市内のスポーツ環境の向上につなげていきます。

■従来方針

《基本的な考え方》

- 自立・自律：運営のベースは会費を主として、会員の中で物事を決めていく
- 持続・継続：毎週、毎月、毎年継続していけるようにする
- 共益・地益：共益を目指す互助組織だが、地域が良くなることが会員の益になると考える

《目指すところ》

- ◆子どものスポーツ環境の充実
- ◆大人のスポーツ環境の充実
- ◆シニアのスポーツや運動環境の充実

《取り組み》

- ☆他にはない受け皿を用意していく
- ☆使える場所を増やす
- ☆地域とつながる・つなげる

【事業の取組方針】

これまでと同様に、社会的に大きな話題となった部活動を始めとした子どものスポーツ環境の改善と、パラスポーツとの交流をとおした共生社会にむけた取組みを進めます。

ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止と活動休止によるダメージが拡大しないように十分配慮します。

I プロジェクト

1) 中学生のスポーツ環境向上プロジェクト

- ・スポーツ庁モデル事業に応募し昨年度の取組みを発展させます。
- ・採択が受けられなかった場合でも、無理な支出を生じないように、できることに取組んでいきます。

- ①チャレンジクラブ
- ②コンディショニングサポート
- ③部活スタートアップ講習会
- ④部活サポートの地域内のネットワーク構築

2) 中学女子サッカー支援プロジェクト

- ・昨年度までの知見をもとに、関係団体（例：ラッキーズ、レッズ）と連携して充実を図ります。

3) 子どものスポーツについて考える機会づくり

- ・クラブ内だけで進めず、地域と一緒に考える機会をつくっていきます。

4) パラ種目体験・交流事業

- ・「誰でもJOIN」を推進するため、関連団体と連携して、体験会や交流会の開催にむけて取組みます。

II 通常事業

1) クラブメンバーシップを育む（仲間づくり、社会参加の実現）

- ・指導者もプレイヤーも、応援者もみんながクラブのメンバーとして活動する、「お客さま」で終わらないクラブにしていきます
- ・会員やその家族が、種目の壁を越えて交流できる事業を実施し、各種イベントなどへの参加を促していきます。
- ・活動に関わるスタッフ間の意思の共有を進めます。

2) 広報・PRに力を入れます

- ・ニュースの配布先を増やし、確実に配布します。
- ・各種イベントの市報への掲載を着実に行っていきます。

3) さいたま市内の地域スポーツクラブと連携した事業の推進

- ・さいたま市総合型地域スポーツクラブ推進委員会に参加し、市内クラブやスポーツ協会とのネットワークを密にして、地域スポーツクラブの社会的価値向上に取り組めます。

4) 駒場体育館指定管理事業の充実等

- ・現在休館中の体育館の再開時にパワーアップした取組みができるよう検討、準備を進めます。
- ・このため、地域の関係者との話し合いを進めます。

5) スポーツ用品リユースプロジェクトの実践

- ・昨年度停滞したままとなっているリユースプロジェクトを実施します。

6) そのほか

- ・彩の国SCネットワークの事務局を担います。
- ・スポーツ推進委員や少年団など地域のスポーツ機関・組織との連携を高めます。
- ・地域課題の解決に取り組む団体や機関との連携も進めます。

7) プログラム

①サッカー

- 広場の会員増加、プログラムの充実をはかります
- 中学女子サッカーのプログラムを関係機関と連携して会員増・充実を図ります
- 生涯コースの会員を増やします
- スーパーシニア広場の会員増をはかります

②テニス

- テニス会員の増加を目指します
- テニスコート確保に努めます
- 市民大会に、浦和スポーツクラブとして参加します

③フィットネス

- 会員の増加、クラス数の増加を図ります
- スタジオのさらなる活用とそのための指導者の確保を図ります
- シニア対象プログラムの会員増加を図ります。貯筋運動の普及を図ります。

④卓球

- 指導者（コーチ役）の安定的な確保を目指します

⑤その他

- 星空スポーツ広場参加者のクラブへの理解を進めるべく、これからも啓発に取り組むとともに、クラブ事業への参加を促します
- 様々な専門知識を持った人材を活かし、各プログラムに+αを付け加えていきます
- スポーツ鬼ごっこの家族参加コースの充実を図ります。

4. 2020年度予算（案）（2020年4月1日～2021年3月31日）：採決事項④

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員会費収入	¥ 75,000		
〃 入会金収入	¥ -		
賛助会員（個人）	¥ -		
賛助会費（法人）	¥ 100,000	¥ 175,000	
2 受取助成金等	¥ 2,000,000		
3 事業収益			
サッカー事業	¥ 6,236,600		
フィットネス事業	¥ 6,577,350		
テニス事業	¥ 5,169,200		
卓球事業	¥ 346,500		
地域事業	¥ 437,955	¥ 18,767,605	
4 その他収益			
用具等販売他	¥ 425,850		
割引分	¥ -700,000	¥ -274,150	
当期収入合計（A）			¥ 20,668,455
II 経常費用			
1 事業費			
サッカー事業	¥ 5,914,369		
フィットネス事業	¥ 7,966,014		
テニス事業	¥ 4,077,480		
卓球事業	¥ 260,686		
地域事業	¥ 555,301	¥ 18,773,849	
2 管理費			
人件費	¥ 2,803,750		
通信・運搬費	¥ 620,240		
印刷・事務消耗品	¥ 436,000		
施設	¥ 1,513,728		
法定福利・手数料・減価償却他	¥ 1,964,526	¥ 7,338,244	
3 予備費			
当期支出合計（B）			¥ 26,112,093
施設費積立			0
当期収支差額（A）－（B）			¥ -5,443,638

	金 額 (税抜)		
	2020予算	2019決算	比較
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員会費収入	¥ 75,000	¥ 75,000	¥ -
〃 入会金収入	¥ -		¥ -
賛助会員 (個人)	¥ -		¥ -
賛助会費 (法人)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -
2 受取寄付金	¥ -	¥ 8,102	¥ -8,102
3 受取助成金等	¥ 2,000,000	¥ 100,000	¥ 1,900,000
4 事業収益			
サッカー事業	¥ 6,236,600	¥ 12,018,314	¥ -5,781,714
フィットネス事業	¥ 6,577,350	¥ 10,639,120	¥ -4,061,770
テニス事業	¥ 5,169,200	¥ 7,505,959	¥ -2,336,759
卓球事業	¥ 346,500	¥ 589,436	¥ -242,936
地域事業	¥ 437,955	¥ 3,398,778	¥ -2,960,823
5 その他収益			
用具販売	¥ 275,850	¥ 495,345	¥ -219,495
利息		¥ 91	¥ -91
雑収益	¥ 150,000	¥ 236,086	¥ -86,086
割引分	¥ -700,000	¥ -854,344	¥ 154,344
当期収入合計 (A)	¥ 20,668,455	¥ 34,717,848	¥ -14,049,393
II 経常費用			
1 事業費			
サッカー事業	¥ 5,914,369	¥ 8,676,994	¥ -2,762,625
フィットネス事業	¥ 7,966,014	¥ 9,797,063	¥ -1,831,049
テニス事業	¥ 4,077,480	¥ 5,774,176	¥ -1,696,697
卓球事業	¥ 260,686	¥ 446,086	¥ -185,401
地域事業	¥ 555,301	¥ 3,699,334	¥ -3,144,033
2 管理費			
人件費	¥ 2,803,750	¥ 2,947,001	¥ -143,251
通信・運搬費	¥ 620,240	¥ 803,568	¥ -183,328
印刷・事務消耗品	¥ 436,000	¥ 445,235	¥ -9,235
施設	¥ 1,513,728	¥ 2,225,681	¥ -711,953
その他	¥ 1,964,526	¥ 1,122,773	¥ 841,753
3 予備費			
当期支出合計 (B)	¥ 26,112,093	¥ 35,937,911	
施設積立金	¥ -		
当期収支差額 (A) - (B)	¥ -5,443,638	¥ -1,220,063	¥ -4,223,575

5. 役員の変更について

■理事（任期 2019～2020 年）

- | | | | |
|----|------------------|------------------------|-------|
| 1 | 小野崎研郎 | （サッカー 一般会員） | ／理事長 |
| 2 | 塩野 潔 | （医師） | ／副理事長 |
| 3 | 梶谷千恵子 | （テニス指導者） | ／副理事長 |
| 4 | 小川 貴 | （事務局長） | ／副理事長 |
| 5 | 遠山 茂 | （サッカー SS 広場指導者） | |
| 6 | 清水 恵二 | （サッカー 一般会員） | |
| 7 | 石井 亮二 | （サッカー 一般会員） | |
| 8 | 内村 久子 | （テニス指導者） | |
| 9 | 木村 曜子 | （テニス指導者） | |
| 10 | 金木 貴子 | （フィットネス指導者） | |
| 11 | 舟山 勝明 | （卓球指導者） | |
| 12 | 片倉 藍 | （クラブマネジャー） | |

監事

- | | | |
|---|-------|------------------|
| 1 | 三戸 一嘉 | （前県体育協会副会長兼専務理事） |
| 2 | 柴崎 栄一 | （弁護士） |

【参考】

■指導スタッフ

サッカー： 遠山茂、ゲットスポーツスクール（浅井、千島、瀬戸）

サッカー広場： 片倉藍、武島健二、青野友亮、西尾優輝、宮下竜也、藤田翼、
鈴木大跳、長島悠晟

のびのびスポーツ広場： 浅井諭

スタジオ： 金木貴子、岸桃子、柳澤舞、伴美紀恵、小川貴、長谷川和美、宮本明美
武鍬志保、篠原香魚子

シニア健康教室： 篠原香魚子、小川貴

テニス： 梶谷千恵子、内村久子、木村曜子、鈴木三恵子、大川みどり、田中幸、堀本知恵美、
一ノ瀬奈美、河合朋子、三浦郁哉、矢部憲道、三沢三郎、林正治、谷中努

卓 球： 舟山勝明、斎藤駿介、清水啓史

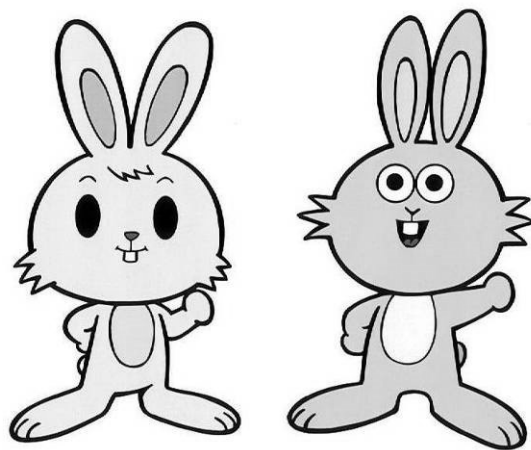
星空スポーツ広場： 飯高一郎、若井悟（以上、バドミントン）、小野崎研郎（サッカー）

■事務局

事務局長： 小川貴

クラブマネジャー： 片倉藍

事務局員： 小林美喜、小野崎さおり



2020. 6. 14

NPO法人 浦和スポーツクラブ
(事務所) 〒330-0072 さいたま市浦和区領家4-5-6
電話 048-887-7140
FAX 048-677-7598
e-mail info@urawasc.org
HP-URL <http://www.urawasc.org>